

平成 28 年 4 月 16 日 (土)

クロスペンアカデミー講演会



4月16日(土)午前10時から伊那文化会館大ホールで、クロスペンアカデミー開講式の後、アートディレクターの寄藤文平先生(高44回卒)の「山と星とデザイン」と題する講演会を開催しました。生徒・職員のほか、保護者39名、同窓生名18名、一般の方29名と多くの方々が聴講しました。生徒の感想の一部をご紹介します。

私も美術が好きなので、先生のお話を楽しみにしていました。お話の中で“ギャップ”という言葉がよく出てきました。私の中では、社会で生き抜くためには他人との差をつけいかに独自の個人を確立していくかが重要だと思っていましたが、先生は「これからの時代はギャップを埋めていくことが大切だ」とおっしゃっていました。人にいかにものを伝えるか、相手との溝(ギャップ)を埋めていくかということの大切さが伝わってきました。東京メトロの「家でやろう」シリーズのおじさん(嶋崎さん)がとても気に入っています。マナーが悪い人を悪だとは言わず、相手とのギャップを埋める、とてもアイデアの詰まった広告だと思い、私も先生のように美術(アートデザイン)に関わりたいと思いました。

